令和3年度 第3回混雑WG アジェンダ

○令和4年3月17日（木曜日） 16時00分～16時15分 WEB開催

1. 今年度活動報告

2. 次年度以降の活動について

令和3年度 第3回混雑WG アジェンダ

〇令和4年3月17日（木曜日）　16時00分～16時15分　WEB開催

1. 今年度活動報告

2. 次年度以降の活動について

1．今年度活動報告【ケーススタディ】

ぐるなびをベースに混雑情報を活用したサービスを検証

LIVE 秋葉原のお店の今の姿がわかる
AKIBAのアキバ

ぐるなびの飲食店探しのサービスをベースに、本事業の専用のオリジナルサイトを用意し、**混雑状況に連動したクーポン発信**を実施

Point 01

混雑状況をリアルタイムに可視化

店内に設置したセンサーやAIカメラによって取得されたデータを元に、飲食店の**混雑状況を3段階のステータスによってわかりやすく**、ユーザーへ伝えます。

Point 02

人を特定出来ない匿名化技術を利用

AIカメラが人物の位置・形を自動判別し「事前に撮影した空の店内画像」と「人型」を合成します。そのため、**人物がそのまま表示されることは100%ありません。**

Point 03

今だけ使える限定クーポンを配信

店内のリアルタイムな混雑状況と予約情報をチェックすることで、集客の必要がある時のみ**時間制限のあるクーポンを配信**。自動的にユーザーの来店を促進します。

飲食店のレイアウトや実情にあわせたICT機器を設置、混雑情報と予約情報を取得

混雑状況の取得方法

センサー

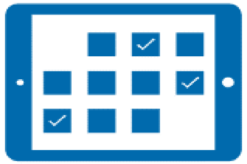
テーブルごとのセンサーによって混雑状況を把握

AIカメラ

画像で検知した人数によって混雑状況を把握

予約情報の取得方法

席在庫サービス
（ぐるなび台帳を利用）



APIでデータ連携して予約状況を自動取得

サイコロセンサー
（簡易手段として提供）

飲食店スタッフが、予約状況を手動で発信

AIカメラが人物の位置・形を自動判別し「事前に撮影した空の店内画像」と「人型」を合成。そのため、人物がそのまま表示されることはない

1．今年度活動報告【ケーススタディ】

店舗の「今」の様子・混み具合を伝え、空いてる時だけのクーポンと席キープ機能で、即座の来店を促すサービス提供

地図でお店を探す

お店の情報を見る

クーポンをゲット

&

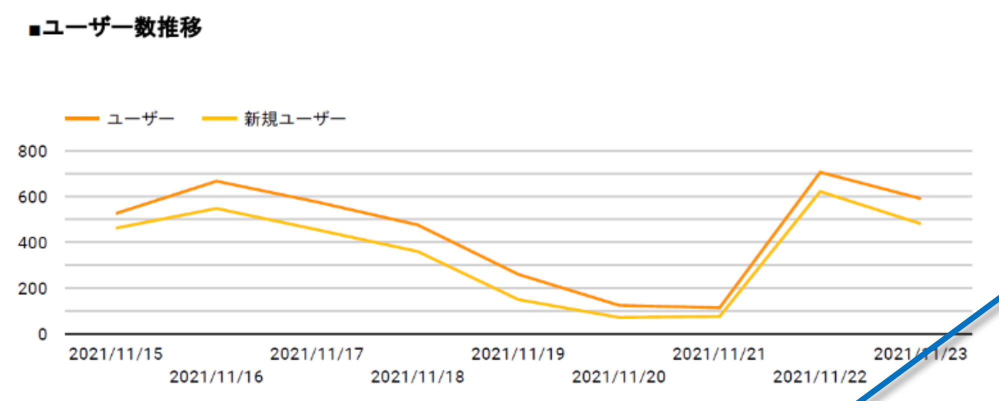
席をキープする

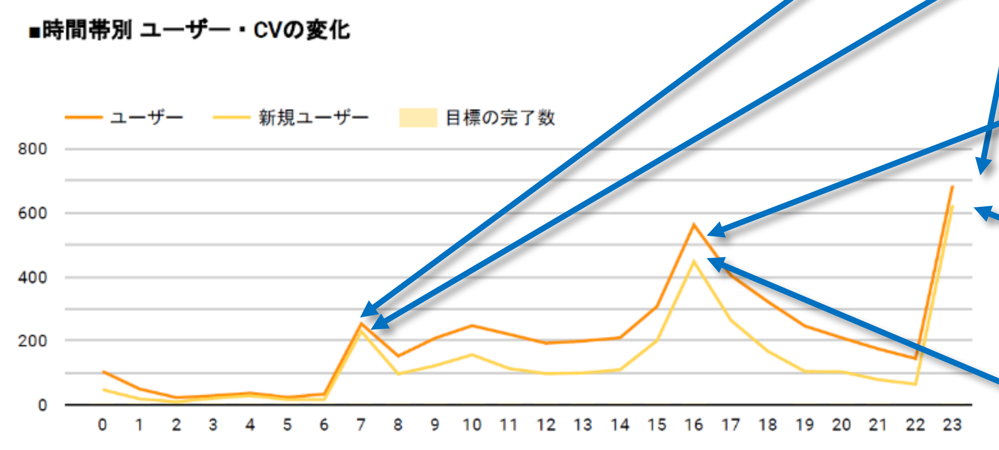
１．今年度活動報告【ケーススタディ】

サイネージと連動させ、即時来店に向けた情報を提供

１．今年度活動報告【ケーススタディ】

開始直後より複数メディアで取り上げ、認知拡大
数千のユーザー、数万のＰＶアクセスを獲得





11/15 23時　CXフジテレビ
FNN Live News α

11/16　7時　CXフジテレビ
めざましテレビ

11/17　7時　NTV日本テレビ
ZIP！

11/18　１7時　TBS
Nスタ！

11/22　23時　NTV日本テレビ
ZERO

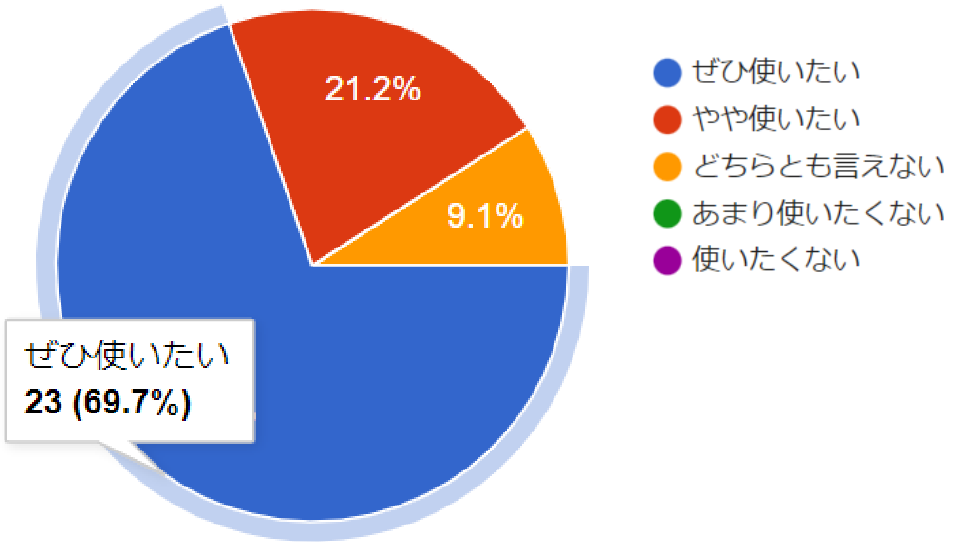
11/23　16時　NTV日本テレビ
ニュースEVERY

画像引用元：https://www.fnn.jp/articles/-/270824

混雑状況や内装や雰囲気が確認・比較できる点は好評
サービスの使いやすさに関する改善要望を多数収集

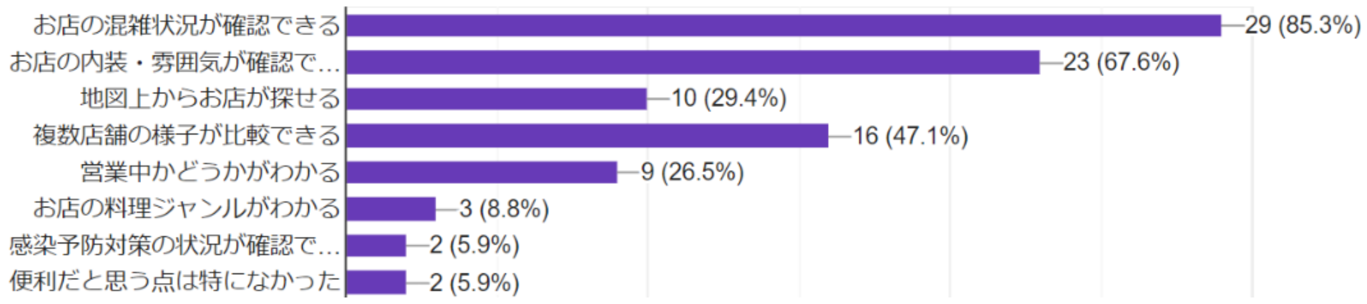
Q5.今後、「AKIBAのアキバ」を使いたいと思いますか？（5段階評価）

33 件の回答



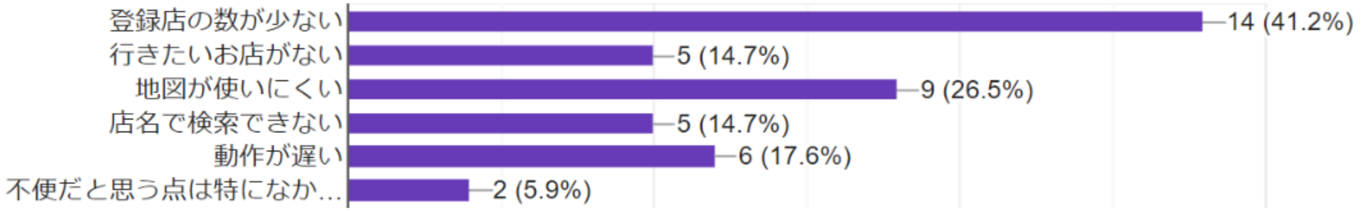
Q3.「AKIBAのアキバ」のサイトを利用してみて、便利だと感じた点はなんですか？（複数回答可）

34 件の回答



Q4.「AKIBAのアキバ」のサイトを利用してみて、使いにくい、不便だと感じた点はなんですか？（複数回答可）

34 件の回答



１．今年度活動報告【ケーススタディ】

実証における気づきとサービス実装までの課題を可視化

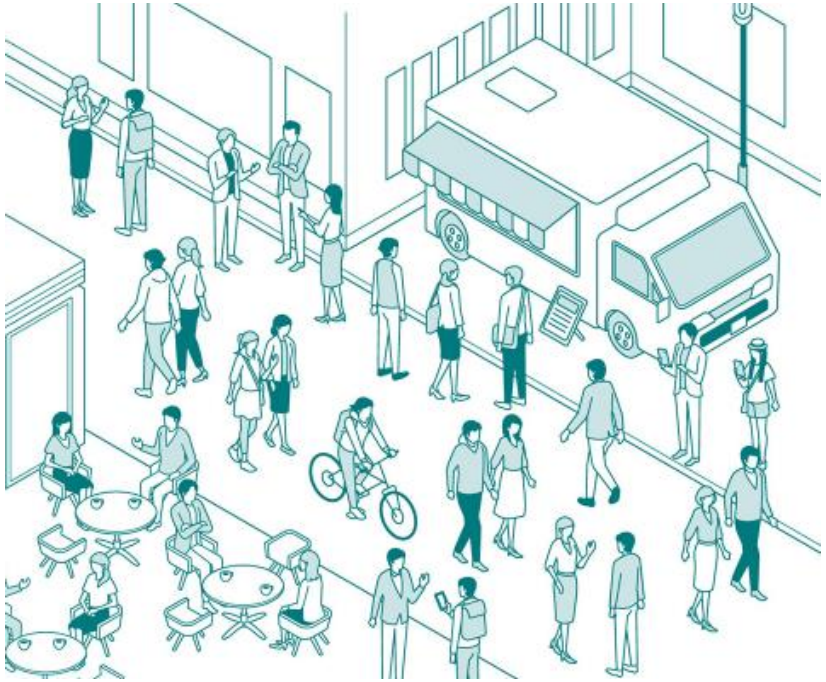
検証に協力する店舗集めに苦戦した	ICT機器の設置の手間の軽減	• センサーやカメラを設置する際、**承諾や下見、設置設定に想定より時間がかかり**、店舗数を増やすのに苦戦する要因となった
	カメラに対する不安の解消	• **お客様やスタッフのプライバシーに対する漠とした不安**から、現場スタッフの合意を得られずカメラを導入しない店が多かった
流入は増えたが送客は比例しては増えなかった	サービス提供地域の拡大	• 事前に予約をしない急な飲食店探しというシーンは限定的なので、**広いエリアで提供されていないと活用する機会が生じない**
	地域ユーザーへのリーチ手段の充実	• サイネージや店内掲示物だけでなく、チラシの配布や駅ポスターの設置など、**今そこに居るユーザーにリーチする手段**が重要になる
予約データの活用は発展の余地が大きい	予約が多いときのユーザーへの見せ方	• 特に年末の繁忙時期において、18時前後に混雑度や店内画像を見て席を**予約をしようとしたが、断られてしまうケースが発生した**
	データの利用許諾の事前調整	• 店で使われている様々な席在庫サービスと連携する想定をしていたが**店舗の許諾だけでは第三者の利用が不可**のため対応を見送った

１．今年度活動報告【デジタルツイン実現プロジェクト実証】

地上・地下の混雑度を含む、日常時／発災時の リアルタイム情報提供サービスを提供、有効性を確認

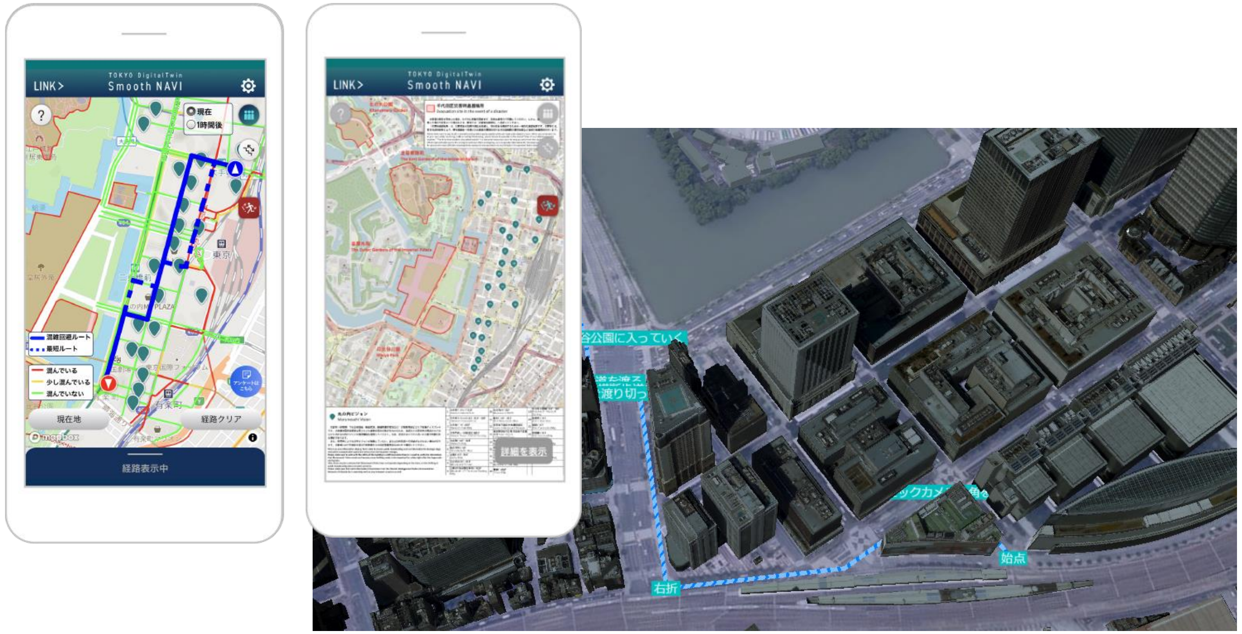
実証目的

リアルタイム人流予測データを活用し
混雑回避促進、防災・避難意識向上



実証内容

Webアプリを提供し、混雑ルート提供・避難経路表示・オフライン災害情報提供の有用性を確認



1．今年度活動報告【デジタルツイン実現プロジェクト実証】

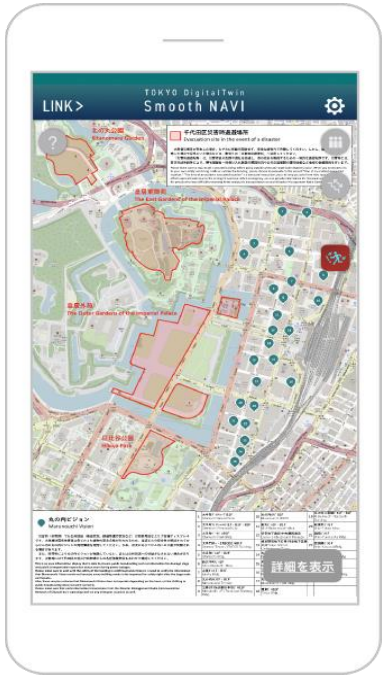
Webアプリ・3Dビューア利用者それぞれよりフィードバックを収集

Webアプリ

地上・地下混雑度、経路検索、発災時用マップを公開

地上の混雑度
及び経路検索

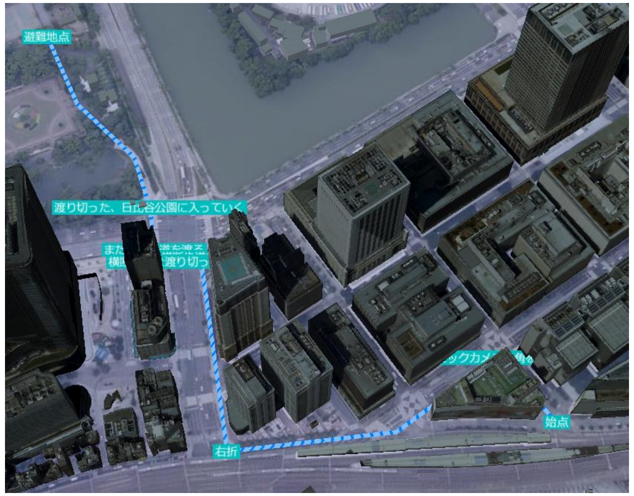
地下の混雑度可視化



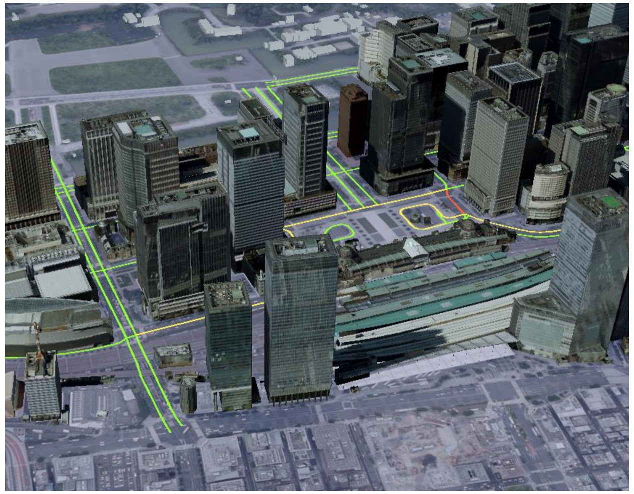
発災時オフラインマップ

3Dビューア

避難経路・混雑度の3D表示をデジタルツイン３Dビューア上に公開



避難経路ガイダンス



地上・地下混雑度可視化

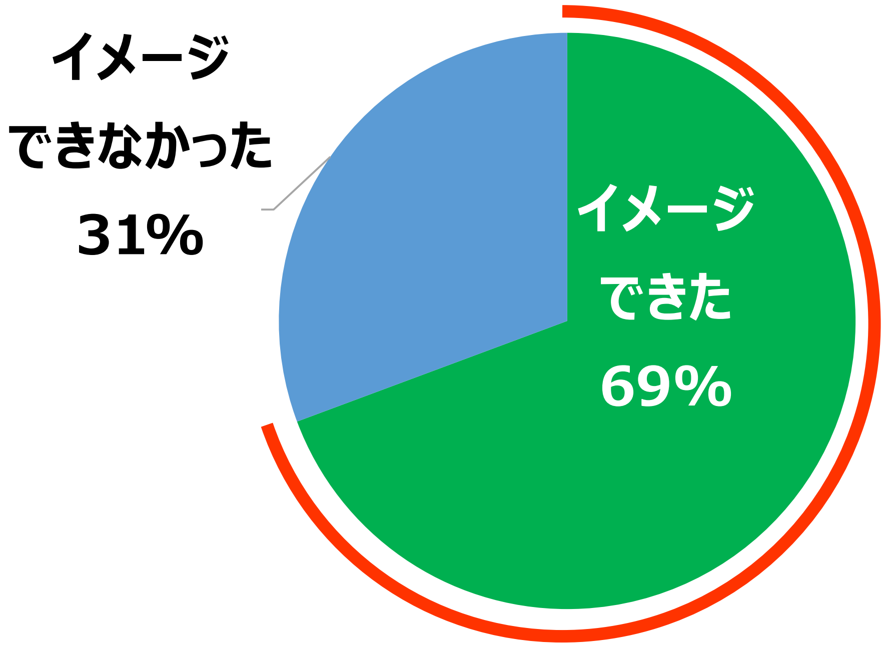
１．今年度活動報告【デジタルツイン実現プロジェクト実証】

日常利用サービスと連動した災害用サービスの提供は有効

3Dビューアアンケート結果(595件)

**過半が3Dビューアにおける
避難経路表示を有効と回答**

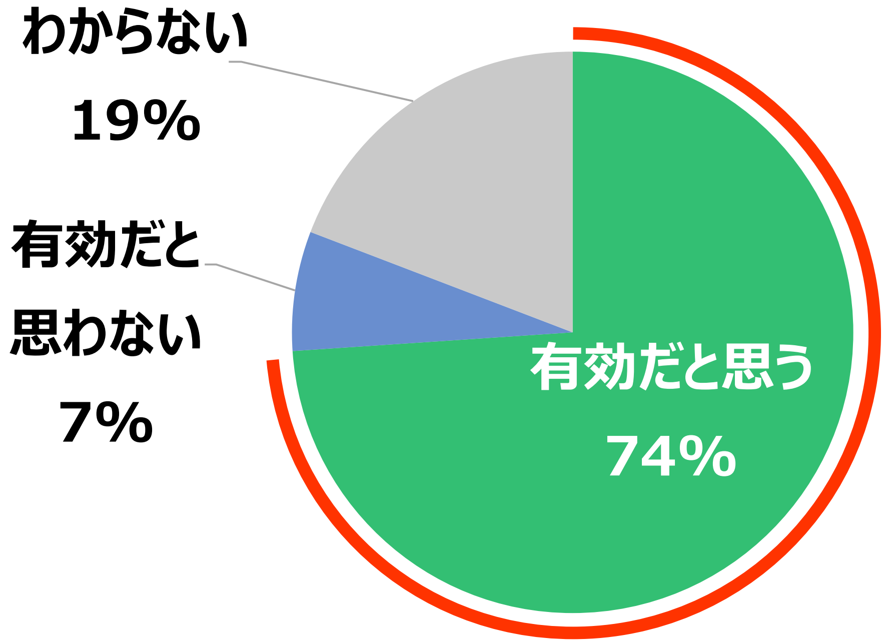
大丸有エリアでの避難経路のイメージ



Webアプリアンケート結果(749件)

**災害時オフライン情報提供の
有用性も確認**

災害時のオフライン情報提供の有効性



１．今年度活動報告【デジタルツイン実現プロジェクト実証】

課題を踏まえ、社会実装に向けた留意事項を整理

リアルタイム人流活用アプリ提供の課題

- **情報の充実の必要性**
  - **リアルタイム情報**（混雑度や被災状況を確認するライブ映像、店舗や避難所の混雑度等）
  - **バリアフリー情報**
  - **災害時**に役立つ情報
- **使いやすさの向上**
  - 使い方の説明充実、混雑度の表示方法改善
  - スマートフォンでの利用を想定したデータ軽量化
  - カラーユニバーサルデザイン、音声案内、英語版の充実等
- **混雑度の精度の向上**
  - リアルタイム人流データ処理のタイムラグ短縮

今後

- **最終報告とりまとめ（年度末公開予定）**

今後の方向性

社会実装に向けた留意事項整理

日常時	発災時
■ エリアの特性に応じたリアルタイム情報の追加	■ オンライン/オフラインで提供する情報を分類し提供場所を明確化

- ユニバーサルデザインへの配慮
- スマートフォンでの利用を想定したアプリ提供
- 混雑度の計測～表示までの時間短縮・見せ方の工夫

1．今年度活動報告【混雑情報の広報活動】

東京都政策企画局のサイトに掲載（追加掲載募集中）

混雑状況がわかるサービスのご紹介

店舗、飲食店等の混雑状況

お買物混雑マップ（株式会社unerry）
全国小売店舗の混雑情報が豊富なサービスです。

トクバイ（株式会社ロコガイド）
スーパー・ドラッグストア等の混雑情報が豊富なサービスです。

Google マップ（グーグル株式会社）
店舗、レストラン、公園、カフェ、周辺地域のなどの混雑状況を確認できます。

VACAN Maps（株式会社バカン）
商業施設の混雑情報が配信されているサービスです。

Yahoo! 地図（ヤフー株式会社）
「Yahoo! 地図」の中の店舗情報で混雑状況が確認できます。

Yahoo! MAPアプリ（ヤフー株式会社）
お店や施設周辺の混雑状況をアプリで確認できます。

主要鉄道の混雑状況

主な鉄道事業者ごとの混雑情報(国土交通省)
関東の各鉄道事業者の混雑情報のリンクが掲載されています。

掲載を希望する企業の方は、以下のアドレスまでご連絡をお願いします。
S0014601（at）section.metro.tokyo.jp
※お手数ですが（at）を@に置き換えてください。

令和3年度 第3回混雑WG アジェンダ

○令和4年3月17日（木曜日） 16時00分～16時15分 WEB開催

1. 今年度活動報告

2. 次年度以降の活動について

各WGの令和3年度の取組と令和4年度の活動イメージ

施設系データ集約WGと統合し活動していく

	令和3年度	令和4年度
混雑WG	混雑情報の流通活性化への取組 施設ID民間ニーズ集約	**混雑データ利活用は民間主導に（都の関与割合を低下）** **施設ID関連は施設系データ集約WG等において検討を継続**
施設系データ集約WG	データ集約モデルケース （西新宿エリア・トイレ施設）	課題検証を通じたモデルケース完成 （データ収集・更新スキーム等） 他地域・施設展開に向けた準備
防災データWG	各種ハザードマップや過去の被災データ等の静的データ活用事例検討・創出	
	避難所開設情報等の動的データ活用検討	ケーススタディ事業を通じて、避難所データ等の利活用に向けたシステム要件等の課題を整理